

みずほ銀行と凸版印刷、 AIを活用した校閲・校正システムの実証実験を開始 ～みずほ銀行の広告制作物における校閲・校正業務の自動化を検証～

株式会社みずほ銀行(本社:東京都千代田区、頭取:藤原弘治、以下「みずほ銀行」と凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下「凸版印刷」)は、AIを活用した校閲・校正支援システム(以下、本システム)の実証実験を2018年12月から開始します。

本実証実験は、凸版印刷が開発したWebや情報誌の編集業務の最適化を実現するAIを活用した校閲・校正システムを導入し、みずほ銀行の広告制作物における校閲・校正業務の自動化を検証するものです。人の手を使ったアナログでの業務について、デジタル化および最新AI技術の導入により、校閲・校正の精度向上を目指します。



今回の実証実験で導入するAIを活用した校閲・校正システムのサービスイメージ

■背景

企業の制作物における校閲・校正業務は、膨大な作業量やスキル・ナレッジが属人化しがちという課題があり、業務負荷の軽減と経験値に左右されない校閲・校正精度の安定した品質が求められています。

今回、制作媒体においてチェック項目や専門用語など、金融業界における校閲・校正業務の自動化を実現するべく、本システムを用いた実証実験をみずほ銀行で実施します。

■本システムの概要

本システムは、制作媒体における校閲・校正業務において、AI を活用して業務の一部を自動化し、校閲・校正業務の精度向上と作業者の業務負荷軽減を実現します。

・さまざまな企業の媒体制作で培ってきた校閲・校正のノウハウを活用したシステム

凸版印刷がさまざまな企業の媒体制作を通じ従来から培ってきた校閲・校正ノウハウと AI を活用することにより、精度の高い校閲・校正システムを開発しました。

・AI を活用することによる検出精度の向上と、お客様ごとの柔軟なカスタマイズで各企業特有の校閲・校正業務に対応

従来は検出できなかった「助詞」や「漢字変換」などの誤りについて、ディープラーニング(深層学習)などの AI 技術を活用することで、検出を可能にしました。標準機能の「正しい日本語チェック」に加えて、お客様毎の個別のチェックルールに合わせて柔軟なカスタマイズが可能です。作業者の校閲・校正業務を幅広くカバーします。

■今後の目標

みずほ銀行は今回一部広告制作物を対象に実証実験を実施し、今後広告制作物全般の校閲・校正業務へ本システムの適用を拡大させていく予定です。

凸版印刷は、本実証実験を通じた効果検証により、本システムの精度向上と汎用サービス化に向けての取り組みを進めます。また今後も、本システムをはじめとするデジタルを活用した制作物の品質向上・業務効率化に向けたサービスの提供を推進します。

* AIを活用した校閲・校正支援システムは、凸版印刷株式会社が関連特許出願中です。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上